



平成 29 年 4 月 12 日(水) 総会要旨

平成29年度 第 12 回定期総会・懇親会開催

4 月 12 日(水) 第 12 回定期総会が手稲区民センターで開催されました。

総会は、茂内義雄会長の挨拶に続いて、議長に渡部副会長が指名され、平成 28 年度事業報告、収支決算報告、監査報告、29 年度事業計画(案)、収支予算(案)、新役員(案)が提案され、会員の熱心な討議により原案通り決定されました。(第 12 回総会資料参照)

総会議案討議に先立ち規定により「特別功労賞」に立花顕次さん、一ノ宮博昭さん、永井道允さん、「ものしり博士証」に渡部孝次さんがそれぞれ受賞されました。



立花顕次さん



一ノ宮博昭さん



永井道允さん



渡部孝次さん

手稲郷土史研究会茂内義雄会長のあいさつ

みなさん、こんばんは! この第 12 回総会が平成 29 年度の幕開けとなります。今年度は手稲区内外の多くの皆様や各団体の方々から手稲郷土史研究会が本当に頼られる、そんな会であればいいな~と思っています。

きっと多くの皆さんは手稲郷土史研究会に「何がしかの相談をしたら、いろいろなことを教えてもらえるのではないかと」と、そんな期待に応えられるような会にしたいと思っています。この一年は会員のみなさん一人ひとりが期待に応えられるような研究活動であつたらいいな~と思っています。簡単ですが年度初めの言葉とさせていただきます。よろしくお願いします。(文責:佐々木)



平成 29 年度の主な事業計画 ………永井事務局長提案

1. 郷土史研究講座推進事業として手稲区、手稲区連合町内会協議会の協力を得て定例会を開催する
2. 特別事業として「手稲郷土資料館」設置への取り組み
3. 手稲の歴史的遺産について調査を進める
4. 日帰り研修旅行の実施(9/23)
5. 手稲区の「歴史資料展示コーナー」への協力
6. 研究グループの活動(新川・運河部会、北海道造林合資会社研究会、手稲石の会)
7. その他 6 項目



懇親会

手稲区伊藤市民部長あいさつ

手稲郷土史研究会の茂内会長、役員・会員の皆様におかれましては日頃から、手稲の歴史に係わるテーマについて大変熱心に研究活動をしておられることに深く敬意を表したいと思います。

手稲区の「手稲歴史発展事業」としてホームページの作成、小学校4年生に「手稲歴史ガイドマップ」を配布しております。このような事業の実施におきまして多大な協力をいただいておりますことあらためて感謝申し上げます。

加えて区民センター1階の歴史資料コーナーでは現在「3つの温泉」をテーマに展示しております。これをより多くの区民の方々に見て頂きたいと思い、パネルの一部を3月31日～4月14日まで「あいくる」で展示し、あわせて北海道科学大学50周年記念、手稲町と札幌市合併50周年記念のパネル展の中で皆様に見ていただいております。

皆さんの活動は、まち作りに大変貴重な役割を果たしていただいております、ひきつづき「ふるさと手稲」への愛着を深めて頂きますようお願いしたいと思っております。

(文責:濱埜)



乾杯!! 手稲区佐藤地域振興課長

ご紹介頂きました佐藤です。区民センター1階の歴史展示コーナーは多くの方がみておられ、ノートの記帳を見てもその反響がごじます。今回の「あいくる」展示でも関心を引いております。

今後も皆さんの研究が区民の方々にどんどん広まっていくことを祈念して乾杯します。

(文責:佐々木)



手稲区連合町内会連絡協議会笹淵会長あいさつ



みなさんこんばんは。区連協会長の笹淵です。所用があり遅れて参加することになり、深くお詫び申し上げます。

日頃から手稲郷土史研究会の会員の皆さんが研さんを積み、「ふるさと手稲づくり」に多大の功績を残されておられることに敬意を表します。

私は道内各地の町内会活動に触れる機会があります。どこの町内会も役員のみならず手がなく苦慮しています。ある町内会で高校生を役員に迎えたそうです。新鮮なアイデアや柔軟な発想により、驚くほど町内会の活性化につながったといいます。貴研究会も高齢化が進む中、若い人を取り込むことにより、より大きな成果を期待できるのではないのでしょうか。

(文責:笹淵)



次回定例会の予定

6月14日(水)
北海道造林合資会社はどのような会社だったのか
沖田紘昭 会員
場所:区民センター会議室

29年度(4月12日)恒例の懇親会模様